

イ・ビョンホン 独占 見るべき韓流&英ドラマ2021

一挙10P

週刊朝日

大学OB
年収ランキング100

公正証書遺言と遺言信託
終活の落とし穴

2・5

増大号

430円

平手友梨奈

命を縮める危険な7つの習慣

「役立たずの国会議員は落とそう」

衆院選全289選挙区 完全予測

菅解散で過半数割れ、
自民が公明と密約



平手友梨奈 撮影：高橋大輔 編集：松本浩一 構成：高橋大輔 監修：高橋大輔 発行：朝日新聞社

出身校別 稼げる大学はココ

年収ランキング100

私大1位は

慶應727万円、早稲田654万円を圧倒

明治・青学・立教を超える中央

旧帝大に並ぶ横浜国立大

トップは東大の811万円

大学入学共通テストの第1日程（1月16、17日）が終わり、私大入試が本格的に始まる。複数の大学に合格したら、どこに入るか悩む人もいるだろう。各大学出身者の平均年収を見ると、同じような入試難易度でも大きな差がある。どの大学OB・OGの年収が高いのか、その理由も見ていこう。

「早慶に受かったら、どつちに行くか悩みます」

こう言うのは今年、早稲田大と慶應義塾大を受験する明治大1年の男性（18）だ。大学に籍を置きながら他大学を目指す「仮面浪人」。「コロナ禍で大学に行けない無為な日々」を受験勉強に充てることにした。父親が早稲田大出身なのも影響したという。

「自分ももっとできると思いました」

早稲田大は政治経済学部と法学部、社会科学部慶應大は法学部と経済学部に出願した。数学を必須とするなど入試改革に乗り出した早稲田大政経学部の評価が上がると見られるが、慶應大の高い就職

力も魅力だという。

「早稲田の政経に合格できれば行くと思いますけど、それ以外なら慶應ですかね。でも、早稲田のほうが学生がにぎやかで楽しそうですし、高校の先輩も多いので、かなり悩みます」

将来や学びの環境を考えれば、どの大学が良いのか迷うところだろう。そこで参考にしてほしいのが、出身大学別の年収ランキング（126、127頁の表）だ。

転職・就職のための情報サービスを提供するオープンワーク（東京）が2019年7月時点で集計したもので、同社に登録された年収・出身大学のうち、50件以上のデー

タがあった大学100校、約1万8千人を対象にした。30歳時の想定年収を算出している。

私大のランキングから見ている。最も高かったのは慶應大で、私大では唯一、700万円を超えた。ライバルの早稲田大には70万円以上の差をつけた。就活塾「ホワイトアカデミー」（東京）を運営するアヴァロンコサルティンクの竹内健登社長が指摘する。

「慶應はビジネススクールのような校風で、年収の高い大手企業に行くことが人生の成功と捉えるような向きがあります。他方で、早稲田は自分のやりたいことをやる気風が強いです」

実際、慶應大卒業生の19年度の就職先を見ると、東京海上日動火災保険が94人で最多。その他に楽天80人、三井住友銀行63人、アクセンチュア44人など、年収の高い企業が多い。

多い。

3位には国際基督教大636万円が入った。早慶に次ぐ難関大として位置付けられる4位の上智大634万円、5位の東京理科大619万円を上回った。学部学生3千人程度の小規模の大学で、幅広く学問を学んでいくリベラルアーツ教育を特徴としている。秋篠宮家の眞子さま、佳子さまが進学したことも知られる。

卒業生は日本アイ・ピー・エム、PWCコンサルティング、電通、日本放送協会など、高収入が見込めるグローバル企業や日本を代表する企業・団体に幅広く進んでいる。大学の担当者は言う。

「自分の興味関心を中心に据えて、幅広く学ぶ姿勢が身につくのが本学の強み。関心のない仕事を任せられても、自分なりの学びを見つけて取り組む。そうした意識の差が

年収にも表れているのではないのでしょうか」

8、10位は明治大587万円、立教大584万円、青山学院大575万円と、近年人気が集まる大学が僅差で並ぶ。この上をいくのが6位の中央大596万円だ。同大キヤリアセンターの池田浩二副部長は、学生の強みについてこう語る。

「真面目な学生が多い。（都心から離れた）東京・八王子という立地もあり、地方出身者が多く集まっているのもその要因でしょう。会社の中で積み上げて成果を出す点では、他のGMARCH（学習院・明治・青学・立教・法政）の学生に負けない自信があります」

駒大が日大超え 秘訣は座禅授業

日東駒専（日本・東洋・駒澤・専修）では駒澤大が500万円、27位。受

験生から人気の高い日大498万円（29位）、東洋大489万円（35位）を抑えた。

「駒澤大の学生の強さは今年の駅伝が象徴しています。最後まで頑張る人間が多い」（同大関係者）

正月の箱根駅伝で総合優勝した駒澤大は、往路では3位。復路スタート時点で首位の創価大とは2分21秒も差があったが、最終10区で大逆転した。

また、仏教系大学ならではの強みもある。全学部で「仏教と人間」という必修科目があり、自分の人生の意味やあり方などを考える。座禅の授業も人気で、キヤリアセンタでも講座を実施するほどだ。自分と深く向き合うことで、卒業後にも良い影響が出ているのは、という意見もある。

ランキングでは理工系の大学も目につく。アヴァロンコサルティンクの竹内社長が説明する。

「文系は企業によって年収の幅が大きいのに比べて、理系は手に職があるので就職に強く、年収も底堅い特徴があります」

理工系で年収が最も高かったのは、5位の東京理科大。続いたのが11位の芝浦工業大570万円、青学大とほぼ同じだ。東京都市大も560万円、14位に入った。

就職が多い。実は「お得意な大学」という声も出ている。同大の住田曉弘学長がこう話す。

「企業から、本学の学生は『目標に向けて確実に行動できる』『成果にこだわってやり遂げる』と評価が高い。卒業生の20%強が有名企業に入社しており、結果として年収も良くなるのでは？」

畿・立命館)でトップだったのは、7位の同志社大596万円。続く関西学院大(12位567万円)に差をつけた。就職先を見ると、文系では三井住友銀行、日本生命保険など金融系の一流企業、理系ではパナソニックやダイキン工業など有名企業に多数進んでいる。就職「就活ステーション」

では同志社は頭一つ抜けています。大手志向の学生が圧倒的に多い。国立の京都大や大阪大、神戸大に落ちた学生も多いので、就活では負けたくないという意識も強く働いていると思います」

立命館大は1999年に日本初のキャリアセンタを設置するなど、早くから就職支援に取り組んできた。仕事への意識の高い卒業生も多いと言われる。また、かつては苦学生が多い大学として知られており、今でも奨学金を充実させ、地方から多様な学生が集まる。「ハングリー精神の文化がある」という声もある。受験生の人気を集めて勢いに乗る近畿大は、平均年収では40位481万円と先の4大学に及ばない。だが、就活ステーションの吉田さんは言う。

就職序列に異変 評価高まる近大

大学関係者から「思っていた以上に高い」と言われるのが、13位の立命

私大

順位	大学名	年収(万円)	順位	大学名	年収(万円)
1	慶應義塾大	727	34	明治学院大	491
2	早稲田大	654	35	東洋大	489
3	国際基督教大	636	36	関西外国語大	486
4	上智大	634	37	武蔵大	485
5	東京理科大	619	38	東京女子大	482
6	中央大	596	39	千葉工業大	481
7	同志社大	596	40	近畿大	481
8	明治大	587	41	中京大	480
9	立教大	584	42	専修大	480
10	青山学院大	575	43	工学院大	479
11	芝浦工業大	570	44	大阪経済大	478
12	関西学院大	567	45	大東文化大	477
13	立命館大	562	46	龍谷大	475
14	東京都市大	560	47	國學院大	474
15	法政大	559	48	東海大	474
16	成蹊大	549	49	北海学園大	473
17	関西大	548	50	東京経済大	471
18	東京電機大	538	51	関東学院大	467
19	学習院大	532	52	日本女子大	465
20	津田塾大	529	53	拓殖大	462
21	南山大	527	54	西南学院大	462
22	甲南大	525	55	東京農業大	462
23	立命館アジア太平洋大	512	56	福岡大	457
24	創価大	508	57	国士館大	457
25	成城大	507	58	産業能率大	456
26	神奈川大	502	59	東北学院大	449
27	駒澤大	500	60	帝京大	448
28	垂井大	499	61	五川大	446
29	日本大	498	62	多摩美術大	443
30	名城大	498	63	桜美林大	440
31	東京工科大	498	64	立正大	438
32	京都産業大	494	65	愛知大	432
33	獨協大	494	66	九州産業大	418
			67	武蔵野美術大	402

「近年は、関関同立の学生を採ってきたような企業からも内定を取れるようになり、評価が高まってきました。同志社は別格としても、他の3大学と並べて見る企業も出てきています」

産甲龍(京都産業、甲

年収ランキング

国公立大

順位	大学名	年収(万円)
1	東京大	811
2	一橋大	740
3	京大	728
4	東京工業大	708
5	神戸大	651
6	大阪大	640
7	東北大	626
8	横浜国立大	625
9	名古屋大	612
10	筑波大	608
11	北海道大	608
12	九州大	598
13	横浜市立大	597
14	大阪市立大	585
15	千葉大	581
16	電気通信大	580
17	大阪府立大	578
18	東京都立大	576
19	東京外国語大	564
20	広島大	554
21	東京農工大	552
22	東京学芸大	549
23	岡山大	532
24	信州大	531
25	埼玉大	528
26	金沢大	527
27	新潟大	516
28	静岡大	512
29	鹿児島大	512
30	滋賀大	508
31	山形大	502
32	茨城大	497
33	北九州市立大	474

データは、転職・就職のための情報サービスを提供するオープンワークから。2019年7月時点で集計。サービスに登録のあった年収および出身大学のうち、50件以上のデータがある100大学、1万8651人を対象に、各大学の年収と年齢の分布から30歳時の想定年収を算出している。小数点以下は四捨五入。同じ年収で順位が違うものは、小数点以下の数字による

南、龍谷)では、甲南大が22位525万円と目立つ。コミュニケーション能力の高さで企業から一定の評価があると言われるほか、大学の担当者はこう付け加える。

「同窓会組織が充実している、卒業してからも面倒を見てくれる先輩が多いのも強みです」

国公立大のランキングを見てみよう。最高は東大で811万円だった。今回のランキングで800万円を超えたのは、私大を合わせても東大だけだ。勉学を通じて鍛え上げた目標を達成する力、課題を乗り越える力、情報処理能力などが高く、企業からの評価も高い。

就職先を見ても、大手銀行や商社、コンサルティング会社など高年収の企業に就職している。就活塾「キャリアアカデミー」(東京)の後藤沙織代表取締役は、東大出身者についてこう語る。

「基本的な能力の高さもあり、入社後の周りからの期待の高さも能力を引き上げる要因になっているのでしよう」

名度は劣るが、首都圏では東大の次に目指す国立大として人気が高い。もともと商科大で、多くの著名な経済人が輩出している。例えば、三木谷浩史氏(楽天代表取締役会長兼社長)、竹中平蔵氏(パソナグループ会長)らだ。就職では大企業や有名企業に進む卒業生が多い。同窓会組織の如水会を中心に強力なネットワークがあり、在学生の就活を支援する。企業からは「一橋大の学生は東大と比べて謙虚な人材が多い。能力は東大出身者と同じくらいなので良い」という評価もある。

京大の次に難関大として位置付けられる大阪大の6位640万円を上回る。神戸大もかつては商業大で、銀行や保険、商社など年収の高い企業への就職が多い。それに対して、大阪大は理工系に強い。大手企業に就職するものの年収は手堅い傾向があり、その違いが出ていと言えそうだ。

横浜の大学の年収の高さも目に付く。横浜国立大は8位で625万円。7位で旧帝国大の東北大626万円とほぼ同じで、9位の名古屋大612万円、11位の北海道大608万円、12位の九州大598万円を上回った。公立大でトップになっ

た横浜市立大は13位の597万円。九州大とほぼ同じで、15位の千葉大581万円を上回っている。東京に近く、横浜にも大企業が多い。地の利が出ていると考えられる。キャリアアカデミーの後藤代表取締役は、こう付け加える。

「横浜出身の学生は、東京に対するコンプレックスがない傾向があります。それにコミュニケーション能力も高いのが特徴です。就職でも印象が良くなり、良い企業に就職しやすいです」

自分の望む将来を実現するために、大学の特徴を理解して選ぼう。本誌・吉崎洋夫

京大超えの一橋 謙虚で高い能力

東大と双璧をなす京大は3位728万円だった。その京大を抑えて2位になったのは一橋大だ。京大と比べると全国的な知